

シニア世代とご家族の人生によりそい、ささえる
ライフエンディングパートナー



燦ホールディングス株式会社
SAN HOLDINGS

燦ホールディングス株式会社

決算補足資料（2024年3月期第2四半期）

2023年11月20日

東証プライム
証券コード 9628

目次

1	2024年3月期第2四半期決算概要	P 02
2	公益社の葬儀の状況	P 11
3	葬仙・タレイの概況	P 17
4	2024年3月期の業績予想・配当予想	P 20

1. 2024年3月期第2四半期決算概要

シニア世代とそのご家族の人生によりそい、ささえる
ライフエンディングパートナー



2Q累計 業績

- **2024年3月期 2Q累計の業績は、期初公表どおり前年同期比《増収減益》**
- **増収の主要因は、一般葬儀の単価上昇と葬儀に付随する商品・サービス提供の収入増**
 - 小規模・簡素な葬儀の件数割合は微増するも、一般葬儀で単価が上昇
 - 葬儀に付随する商品・サービス提供の収入も増収
 - コロナ禍を契機に加速した葬儀の小規模化は緩和
- **営業費用・一般管理費は将来の成長のための費用を中心に増加**
 - 将来的な新規出店に伴う葬儀件数増加および売上拡大に備えた人員体制強化のための人件費・採用費の増加
 - 新規出店による地代家賃の増加
 - 先行投資としての広告宣伝費の増加
 - 基幹情報システムの稼働によるソフトウェアの減価償却費の増加
- **この結果、営業利益は6.2%の減益**

業績予想

- **当初予想から変更なし 通期で前期比《増収減益》を予想**
 - 会館出店計画に伴う先行コストの発生
 - 将来の件数増に備えるための積極的な人材採用による人件費・採用費の増加
 - 新型コロナウイルス感染症の影響はすでに業績に対する主要なリスクではない

配当予想

- **当初予想から変更なし 中間23.0円、期末11.5円（株式分割後）**
- **年間で34.5円（株式分割後） 前期比2円増配（8期連続増配）を予定**
予想配当性向 21.4% * 2023年3月31日現在の自己株式数に基づいて計算

2Q累計 損益

- ・ 営業収益は前年同期比3.2%の増収、営業利益は同6.2%の減益（当初公表通り）
営業利益率は16.1%と1.6ポイント低下も中期経営計画目標値15.5%以上は維持
- ・ 主な増収要因は、一般葬儀の単価の上昇と葬儀に付随する商品・サービス提供の収入増
- ・ 営業費用は、将来的な新規出店に伴う葬儀件数増加および売上拡大に備えた人員体制強化のために計画的に人件費・採用費を増加させたこと、新規出店による地代家賃、先行投資としての広告宣伝費の増加により費用増
- ・ 一般管理費は、基幹情報システムの稼働によるソフトウェアの減価償却費が増加

（単位：百万円）

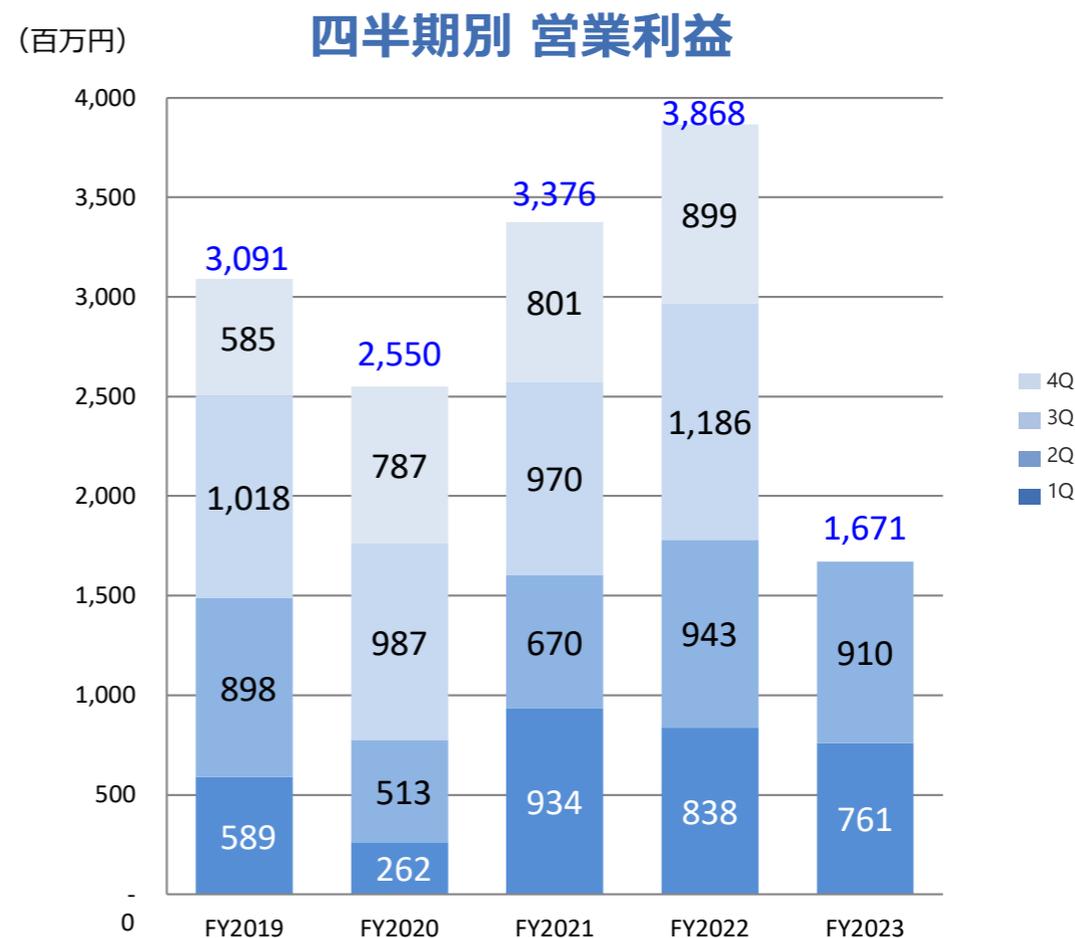
	FY2022 2Q累計	FY2023 2Q累計	前期比		当初業績予想（2023.5.11）	
			増減率	増減額	4Q累計	進捗率
営業収益	10,083	10,407	3.2%	323	22,700	45.8%
営業費用	7,602	7,991	5.1%	388		
一般管理費	697	744	6.7%	46		
営業利益	1,782	1,671	-6.2%	▲110	3,570	46.8%
営業利益率	17.7%	16.1%	-1.6pt		15.7%	
経常利益	1,763	1,684	-4.5%	▲79	3,560	47.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,218	1,085	-10.9%	▲133	2,270	47.8%
1株当たり純利益 （円）	57.48	52.32	-9.0%	▲5.16	109.37	47.8%

- ・ 1 Qの増収減益が2 Qにおいても継続
- ・ 1 Qと比べて2 Qの方が葬儀施行件数・葬儀単価ともに上昇した
- ・ 2 Qの方が高い営業利益率を確保した

(単位：百万円)

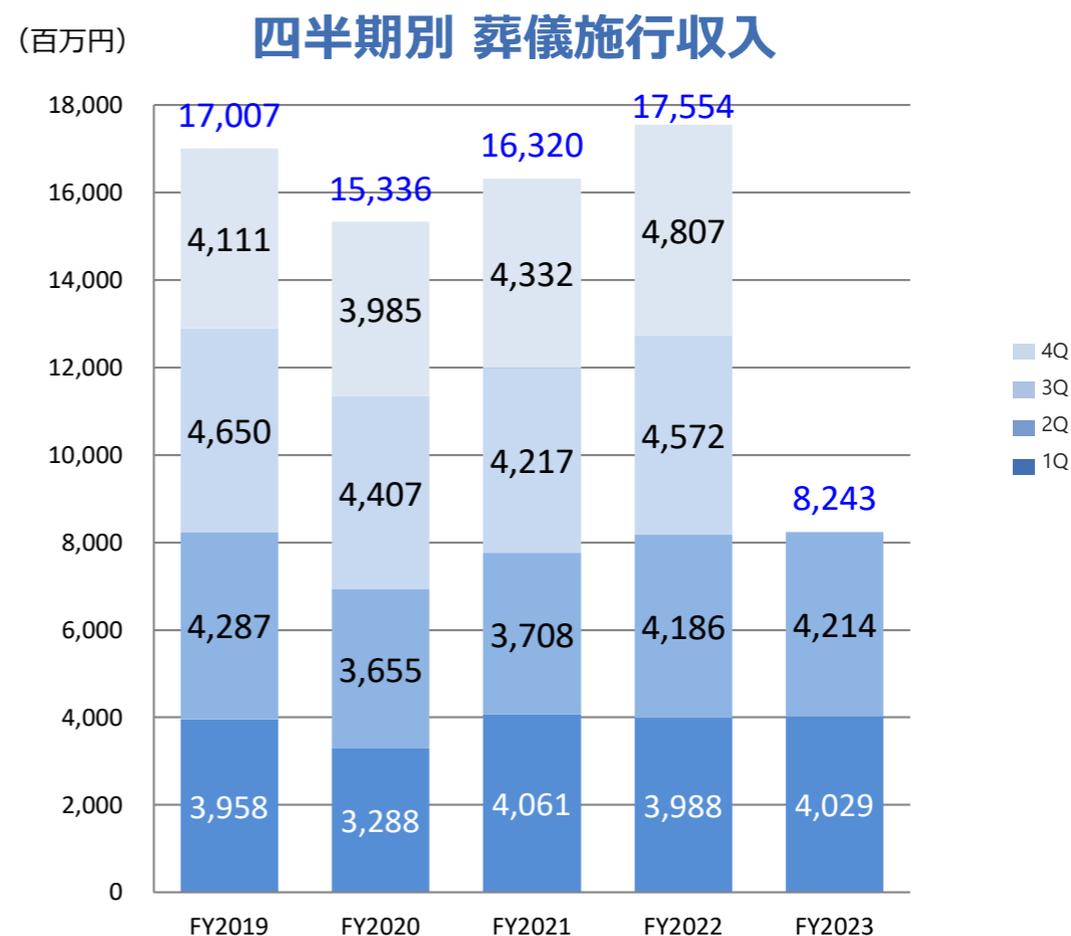
	FY2022 1 Q	FY2023 1 Q	前年同期比 増減率	FY2022 2 Q	FY2023 2 Q	前年同期比 増減率
営業収益	4,856	5,081	4.6%	5,227	5,325	1.9%
営業費用	3,667	3,948	7.7%	3,934	4,042	2.7%
一般管理費	349	370	6.0%	348	373	7.2%
営業利益	838	761	-9.2%	943	910	-3.6%
営業利益率	17.3%	15.0%	-2.3pt	18.1%	17.1%	-1.0pt
経常利益	825	766	-7.2%	937	918	-2.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	526	497	-5.5%	692	588	-15.0%

- ・ 当 2 Q累計の営業収益はコロナ前2019年度の 2 Q累計を上回り過去最高。
- ・ 営業利益は当 2 Q累計は将来の成長に向けた計画的な先行投資により前年同期比減益も、それに次ぐ利益水準を維持



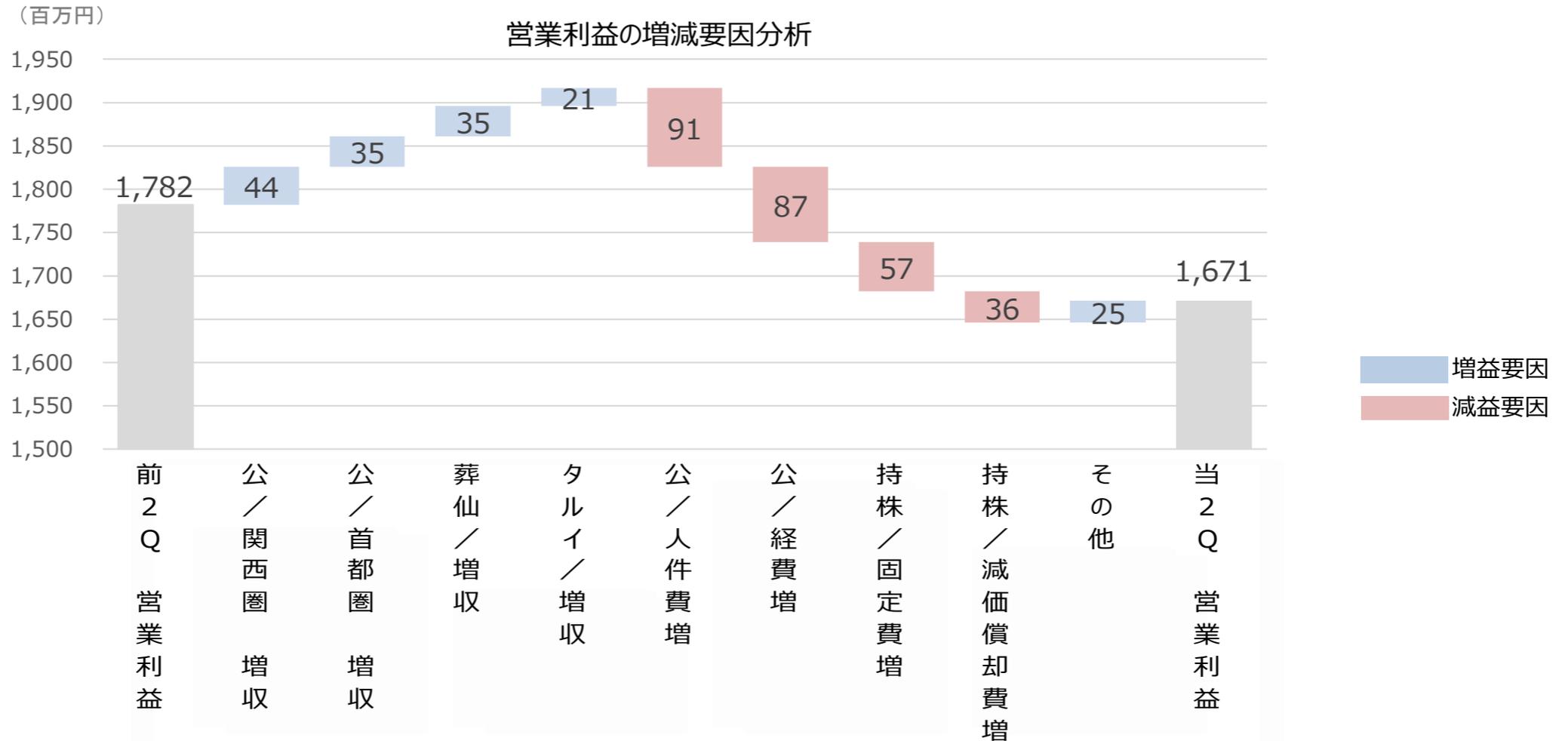
グループの葬儀件数・施行収入の推移

- ・ 2Q累計の葬儀件数は、前年同期と同水準（死亡者数前年並み、コロナ関連葬儀大幅減、新規出店による増）
- ・ 2Q累計の葬儀施行収入は、主に一般葬の葬儀単価の上昇が寄与し増収



営業利益の増減要因分析

葬儀事業3社を中心に増収となった一方、将来の成長のための先行投資として人件費、出店経費、広告宣伝費を増加させていることに加え、新規会館出店に伴う地代家賃の増加（持株会社）、基幹情報システムの稼働によるソフトウェアの減価償却費の増加（持株会社）等があったため、営業利益は減益。



公は公益社、持株は持株会社を示す。

貸借対照表の増減（資産の部）

- ・ 資産（負債純資産）合計は、1.9億円の減少
- ・ 新規会館投資及びリニューアル投資により設備投資3.8億円、減価償却4.0億円の計上等により、有形固定資産が0.2億円減少
新しい基幹情報システム構築に係るソフトウェアの増加により、無形固定資産が0.2億円増加
- ・ これらの投資資金や株主還元の資金に充当したことにより、現預金が2.5億円減少

（単位：百万円）	2023年3月末	2023年9月末	前年度末比 増減額
流動資産	11,039	10,854	▲ 184
現金及び預金	9,192	8,937	▲ 255
営業未収入金及び契約資産	919	982	63
固定資産	25,189	25,184	▲ 5
有形固定資産	22,483	22,456	▲ 27
建物及び構築物	9,840	9,604	▲ 235
建設仮勘定	14	217	203
無形固定資産	398	428	29
投資その他の資産	2,308	2,299	▲ 8
資産合計	36,229	36,038	▲ 190

（参考）

有形固定資産の設備投資額
（建設仮勘定除く）
" 減価償却費

182 百万円（FY2023 2Q累計）
400 百万円（ " ）

（注）勘定科目の詳細は主要なもののみ示した。

シニア世代とそのご家族の人生によりそい、ささえる
ライフエンディングパートナー

貸借対照表の増減（負債・純資産の部）

- ・ 負債は営業未払金、未払法人税等の流動負債の減少を中心に減少
- ・ 株主資本は当期3.1億円の自己株式取得実施により減少するも利益剰余金が増加
自己資本比率は前期末比2.1pt上昇して89.3%

(単位:百万円)	2023年3月末	2023年9月末	前年度末比 増減額
流動負債	3,559	2,821	▲ 738
営業未払金	993	827	▲ 165
未払法人税等	666	457	▲ 208
固定負債	1,054	1,026	▲ 28
リース債務	174	182	8
長期未払金	64	7	▲ 56
負債合計	4,613	3,847	▲ 766
株主資本	31,615	32,190	575
利益剰余金	25,153	25,994	841
自己株式	▲ 1,594	▲ 1,877	▲ 282
純資産合計	31,615	32,190	575
負債純資産合計	36,229	36,038	▲ 190
自己資本比率	87.3%	89.3%	2.1pt

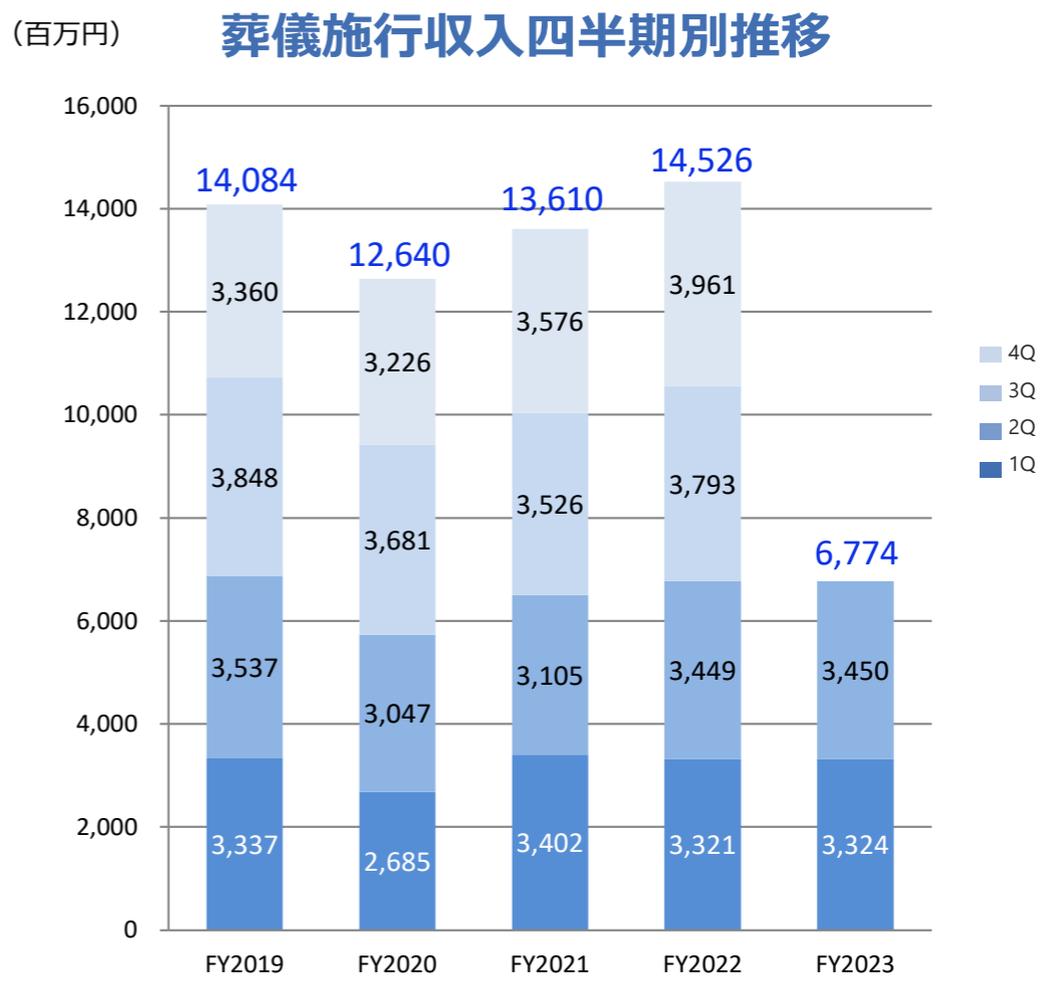
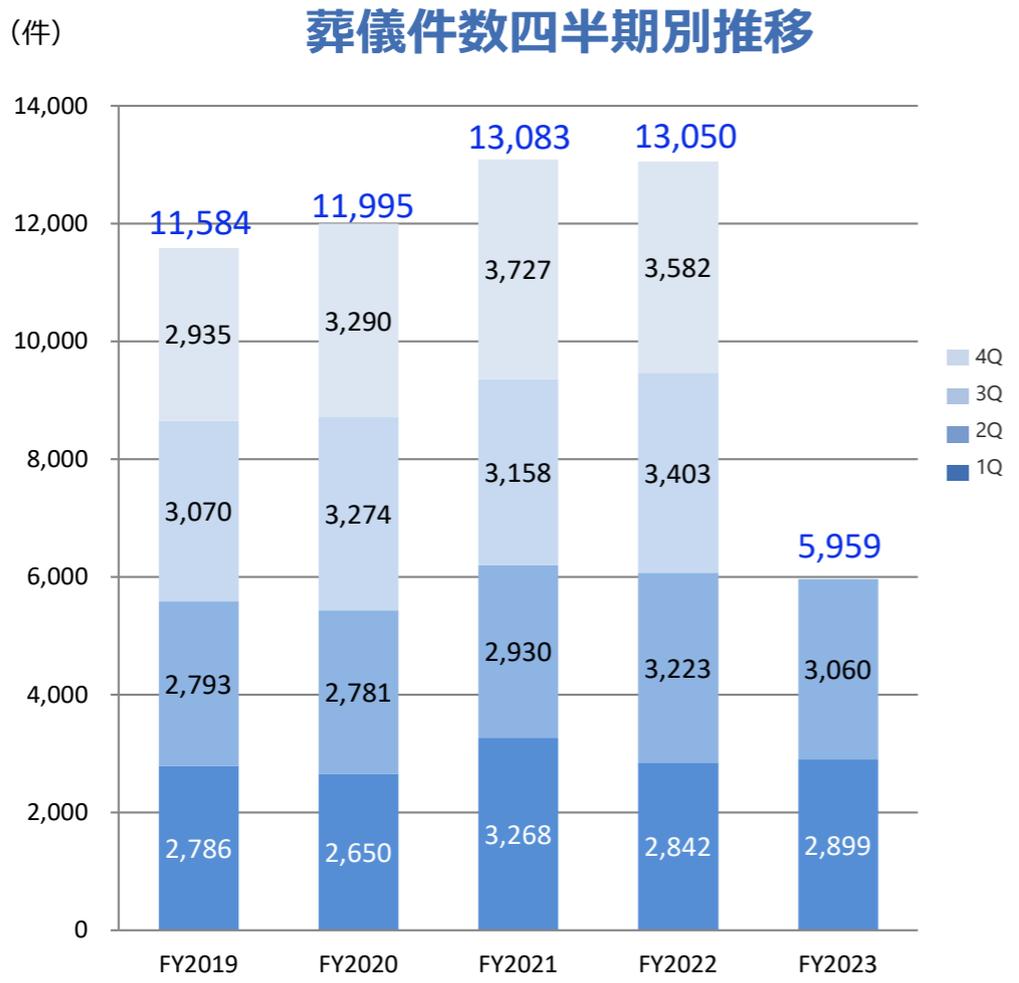
(注) 勘定科目の詳細は主要なもののみ示した。

シニア世代とそのご家族の人生によりそい、ささえる
ライフエンディングパートナー

2. 公益社の葬儀の状況

シニア世代とそご家族の人生によりそい、ささえる
ライフエンディングパートナー

- ・【死亡者数】 2022年～2023年初頭は全国的な超過死亡傾向も、当期に入り収束の傾向が見られ前年並み
- ・【葬儀件数】 前年同期比1.7%の減少、しかし、コロナ関連葬儀の減少要因除くと1.5%の増加
- ・【葬儀施行収入】 一般葬儀の単価上昇により、前年同期比微増



公益社：葬儀件数・施行収入の増減

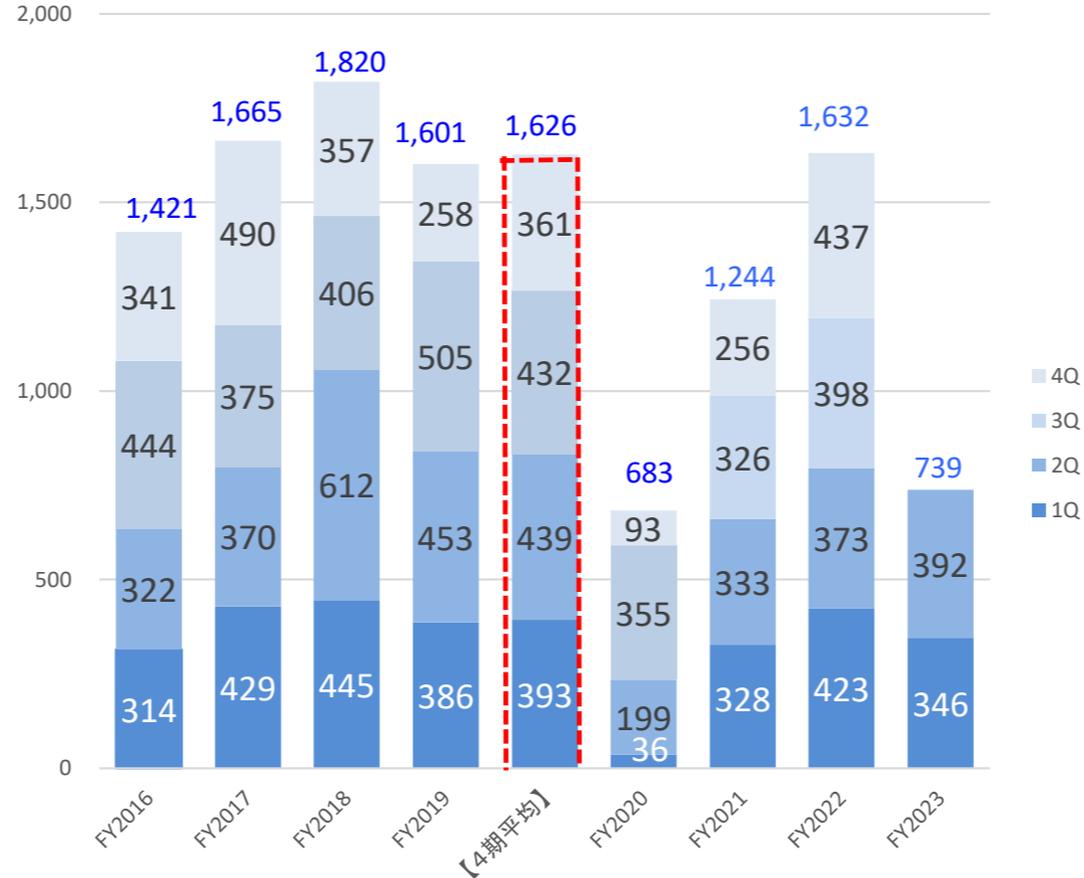
- ・ 関西圏の一般葬儀件数減の主な要因は、コロナ関連葬儀の減少によるもの。件数に比べて金額への影響は限定的
- ・ 一般葬儀は主に首都圏が増収に寄与
- ・ 大規模葬儀の減収の主な要因は、前期に単価の大きな葬儀が発生したこととの比較による単価減

	大規模葬儀 (500万円超)		一般葬儀		合 計	
	上段:件数(件)	下段:金額(百万円)	上段:件数(件)	下段:金額(百万円)	上段:件数(件)	下段:金額(百万円)
首都圏	▲ 3	▲ 93	13	59	10	▲ 33
関西圏	4	35	▲ 120	1	▲ 116	37
合 計	1	▲ 58	▲ 107	61	▲ 106	3

- ・ 社葬・お別れの会等の大規模葬儀（5百万円超）は、コロナ影響により2020年度にコロナ前の4割強の水準に落ち込んだが、2022年度より回復
- ・ 当期2Q累計は前年同期比件数+1件も単価減により7.3%の減収

(単位：百万円)

大規模葬儀 施行収入推移



公益社では全葬儀件数が1.7%減少したのに対して、葬儀単価は1.8%上昇

(地域別の特徴)

- 【首都圏の単価減】

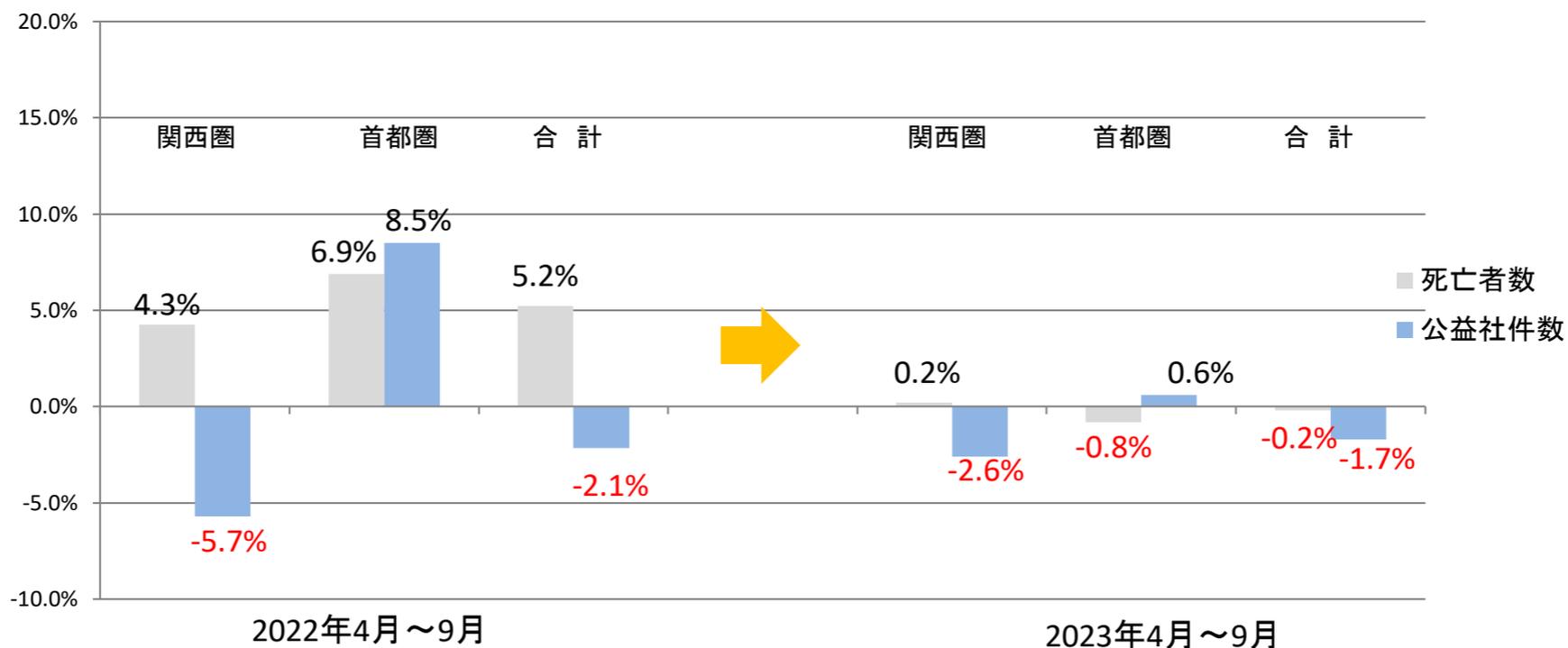
首都圏において一般葬儀（広義）（＝金額5百万円以下）の件数は増加、単価も上昇となるが、大規模葬の単価減の影響を受け、首都圏全体では単価減となった

- 【関西圏の件数減・単価上昇】

関西圏において一般葬儀（広義）（＝金額5百万円以下）の件数は、コロナ関連葬儀等の減少の影響を受け2.6%減少。一方、単価の上昇により関西圏全体では増収

上段：件数（件） 下段：単価（千円）	全社			首都圏			関西圏		
	FY2022 2Q累計	FY2023 2Q累計	増減率	FY2022 2Q累計	FY2023 2Q累計	増減率	FY2022 2Q累計	FY2023 2Q累計	増減率
公益社全葬儀	6,065	5,959	-1.7%	1,678	1,688	0.6%	4,387	4,271	-2.6%
	1,116	1,136	1.8%	1,397	1,369	-2.0%	1,008	1,044	3.6%

死亡者数と葬儀施行件数それぞれの増減率の比較により、シェアの増減を推定すると、
 （関西圏）他社の出店攻勢、コロナの収束傾向に伴うコロナ関連葬儀の減少によりシェア低下
 ※コロナ関連葬儀を除くと件数は1.9%の増加となりシェア向上
 （首都圏）死亡者数が減少する中、新規出店した会館を中心に件数を伸ばし、シェア向上



（注）2021年度は下期に特に東京都・神奈川県・大阪府において、コロナによる死亡でもコロナ以外での死亡でも「超過死亡数」が多数確認され、2022年度は上期に同じ3都府県において、専らコロナによる死亡で多数の「超過死亡数」が確認されている。（国立感染症研究所 感染症疫学センター「日本の超過および過少死亡数 ダッシュボード」より当社集計）

3. 葬仙・タレイの概況

シニア世代とそご家族の人生によりそい、ささえる
ライフエンディングパートナー

- ・ 会葬者の増加により葬儀単価が上昇
- ・ 前年同期比11.1%増収
- ・ 人件費、経費、固定費の増加を吸収し大幅増益

	FY2022 2Q累計	FY2023 2Q累計	増減額	増減率
葬儀件数 (件)	721	720	▲1	-0.1%
葬儀単価 (千円)	829	910	81	9.7%
営業収益 (百万円)	689	766	77	11.1%
営業利益 (百万円)	45	63	18	37.7%

(注1) 営業収益および営業利益はセグメント情報に基づく。

(注2) 営業利益は親会社の費用配賦前の金額を示す。

- ・ 小規模な葬儀に適した新規会館を中心に葬儀施行件数が増加
- ・ 葬儀単価は一般葬儀を中心に低下したものの、営業収益は前年同期比2.5%増収
- ・ 人件費、出店コスト等の増加により営業費用が増加し減益

	FY2022 2Q累計	FY2023 2Q累計	増減額	増減率
葬儀件数 (件)	725	776	51	7.0%
葬儀単価 (千円)	1,111	1,047	▲ 64	-5.8%
営業収益 (百万円)	869	891	22	2.5%
営業利益 (百万円)	168	159	▲ 9	-4.9%

(注1) 営業収益および営業利益はセグメント情報に基づく。

(注2) 営業利益は親会社の費用配賦前の金額を示す。

4. 2024年3月期の業績予想・配当予想

シニア世代とそご家族の人生によりそい、ささえる
ライフエンディングパートナー



(2024年3月期)

- ・ 期初に公表した通期業績予想の修正はなし

(減益となる主な理由) 将来の成長に向けた計画的な先行投資の実施

- ・ 新規出店 8 会館の計画に伴う 2.3 億円の先行コストの発生
- ・ 将来の件数増に備えて人員体制を強化するため、積極的な人材採用により 6.2 億円の人件費・採用費の増加
- ・ 前期の宝塚の旧会館土地等の売却益 2.8 億円の剥落

(単位：百万円)

	①通期予想	前期比		② 2Q累計 (上期) 実績	①-②	前年下期比	
		増減率	増減額			増減率	増減額
営業収益	22,700	4.8%	1,036	10,407	12,292	6.2%	712
営業利益	3,570	-7.7%	▲ 298	1,671	1,898	-9.0%	▲ 187
営業利益率	15.7%	-2.1pt		16.1%	15.4%	-2.6pt	
経常利益	3,560	-7.4%	▲ 283	1,684	1,875	-9.8%	▲ 204
当期 (四半期) 純利益	2,270	-18.4%	▲ 513	1,085	1,184	-24.3%	▲ 380

(2024年3月期)

- ・当初予想から変更なし 中間23.0円、期末11.5円（株式分割後）
⇒年間で34.5円（株式分割後） 前期比2円増配（8期連続増配）を予定
- ・予想配当性向 21.4%

(単位:円)

F Y 決算期	2018	2019	2020	2021	2022	分割前		分割後	
	2019/3	2020/3	2021/3	2022/3	2023/3	2023	2024/3	2023	2024/3
年間配当金	57.00	—	33.00	38.00	44.00	46.00	(予想)	—	
中間	27.00	30.00	16.00	17.00	21.00	23.00		23.00	
期末	30.00	16.00	17.00	21.00	23.00	23.00	(予想)	11.50	
配当性向（連結）	15.2%	18.8%	23.7%	20.3%	16.7%	21.4%	(予想)	21.4%	

(注1) 2019年10月1日を効力発生日とする1：2の株式分割を実施

(注2) 2023年10月1日を効力発生日とする1：2の株式分割を実施

(注3) 2024年3月期の予想配当性向は、2023年3月31日現在の自己株式数に基づいて計算

《注意事項》

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

お問合せ先： 燦ホールディングス株式会社 経営企画部
TEL 06-6226-0038

Copyright 2023 SAN HOLDINGS, Inc. All Rights Reserved.

シニア世代とご家族の人生によりそい、ささえる
ライフエンディングパートナー

 SAN HOLDINGS